

(様式2)

## 平成20年度 鈴鹿市立庄野幼稚園研修計画

研究主題	わかり合おうとする子どもをめざして — いろいろな人・ものとのかかわりを通して —
領域	全領域

### 1 主題設定の理由

- ・ 当園の幼児は、両親や祖父母・地域の方々から温かい愛情に包まれて育ってきている。明るく活発で自分の思いや考えを主張することはできるが、相手の言葉を聞こうとしなかったり、相手の気持ちを受け入れようとしなかったりする姿がみられる。
- ・ 次々と急速に変化する社会生活の変容や少子化、子育てに対する周りの大人の価値観など、幼児を取り巻く環境が子どもたちの育ちに、大いに影響を及ぼしているのではないだろうかと思われる。そこで、日々接する友だちや教師とのかかわりを基盤にしながら、「さまざまな人とのかかわり」や「心揺さぶられる自然体験」をするなかで、驚きや発見、感動といううれしい感情を味わったり、また困難や失敗、我慢する悲しい感情を味わったり等、豊かな感情を味わえる場を大切にしたいと考えた。
- ・ 本年度も園内の人間関係のみではなく、地域の人や小学生、未就園児など様々な年齢の人と身近なものを媒介にしてふれあったり、一緒に活動することを楽しんだりなどの体験を通して「人とふれあう楽しさ」がわかる豊かな心を育てることが、互いのよさをわかり合えることにつながるのではないかと考え、主題を設定した。

### 2 子どもにつけたい力

- ・ 身近な人にかかわろうとする力
- ・ 自分の思いを相手に伝え、相手の思いも受け止めようとする力
- ・ 身近なものに興味や関心をもち、意欲的に取り組もうとする力

### 3 本年度の指導の重点

- ・ 幼児一人ひとりの内面理解に努め、教師のよりよい援助のあり方を探る。
- ・ 幼児が主体的に活動に取り組めるような環境づくりをする。
- ・ いろいろな人や、ものとのかかわりのなかで、幼児が自分を発揮できるようにする。
- ・ 地域・家庭・小学校との連携を深め、相互理解に努める。

### 4 具体的な方策

- ・ 実践記録を取り、幼児一人ひとりの理解に努めながら、個に応じた指導方法の工夫と改善に努める。
- ・ 幼児の興味や欲求に応じた環境づくりをすると共に、積極的に周りの環境を生かして安全で有効な遊びの空間をつくっていく。
- ・ 家庭訪問、参観、園だより、クラスだより、連絡帳などを通して、家庭との連携を深める。
- ・ 地域や小学校とのかかわりの場を積極的につくっていく。
- ・ 園開放を通して地域の未就園児の保護者と話す場をもち、子育て支援をしていく。
- ・ 積極的に研修に取り組み、広い視野から自分たちの保育を見直していく。